

私たちの力で、沼津駅の高架化を実現しよう

かけはし

- 一年のあゆみ.....(1)
- まちづくりセミナー(パートI).....(1)
- 先導地の視察.....(1)
- 静岡県知事等への陳情.....(2)
- 地元懇談会の開催.....(2)
- 広報啓蒙の活動.....(2)
- 駅の高架化と周辺の整備計画.....(2)

編集・発行 沼津駅の高架化を実現する市民の会

沼津商工会議所内

〒410 沼津市御幸町14-5

TEL <0559> 31-1111代・FAX <0559> 31-1115

こんな活動を展開した 市民の会一年のあゆみ

「沼津駅の高架化を実現する市民の会」(会長宇野三郎沼津商工会議所会頭)では、設立二年目である平成元年度において実施した活動を総括した。本会の目的とする「沼津市の中心市街地における都市交通問題の抜本的解決をはかるとともに、沼津市の活性化を促進することを旨とし、沼津駅の高架化を実現する」ことを目的に事業を展開した。陳情の実施、先進地の視察、各種広報活動の実施、鉄道沿線住民との地元懇談会の開催、まちづくりセミナーの開催などである。いずれも目的達成に向けての事業で、沼津市や沼津市議会と連携し、これを支援するための民意を結集する成果を生んだことと評価し、次年度の活動にはずみをつけたことは確かである。活動の内容は次の通りである。

まちづくり

セミナー開催

- とき 一月三十日
- ところ 商工会議所ホール
- テーマ 守口市における連続立体交差事業と周辺再開発計画
- 講師 守口市都市整備部街づくり室主幹兼地域計画係長 川上 健二氏

当日は鉄道の連続立体交差事業と駅周辺再開発を完成させた大阪守口市の事例に学びました。川上主幹は、計画策定から約十五年を費やして完成にこぎつけた同市の京阪電鉄守口市駅前再開発事業の背景や経過をスライドやビデオを使いながら詳しく説明されました。それによると「市域を分断していた私鉄の高架化によって交通渋滞の緩和が図られ、中心地区のなかつた街の顔ができた。大阪への流出に歯止め

- 第一回
- とき 七月十九・二十日
  - 視察先 JR東日本両毛線前橋駅高架化事業
  - 参加者 市民の会副会長萱沼二郎 沼津市自治会連合会 長他連合会長等三十四名
- 前橋駅のケースは群馬県が事業主体、総延長五・七km、事業費は二七

先進地の視察 前橋駅と浜松駅

が掛かったとはいえないが、核が生じたことで周辺都市からの吸引力が高まった。」といっています。守口市の場合、鉄道高架化と電車車庫跡地利用、駅前再開発など沼津市との条件的類似点も多いことから参加者は熱心に聴き入り、「交通の流れと面的な整備により沼津も生きかえるだろう。」と語り合っていました。(参加約六十名)

- 第二回
- とき 七月二十七日
  - 視察地 JR東海浜松駅高架化事業
  - 参加者 市民の会会員約四十名
- とき 二月八日
- 視察地 JR東海浜松駅高架化

萱沼二郎さん

(沼津市自治会連合会会長・市民の会副会長)

訪ねて驚いたことは駅周辺が一変し、昔の面影が全くなかったことです。計画が浮上して十数年がかかったというのが市民の協力のもと行政の強いリーダーシップにより完成をみたといふ只々感嘆するのみでした。単純には比較できないものの、用地の買収や整備に関して、地主等の立場を十分考慮した措置や手法などは参考になると思う。福祉駅との評がある駅であるが、スロープが多すぎる感があった。コンコースで南北がつながり一体化した様は実に気持ちよいものでした。



○億円 昭和四十八年十一月、県市、JRが鉄道高架化の協議を開始し、昭和六十一年十月供用開始までに約十四年をかけて完成させたものです。参加された方の感想を紹介します。

深沢繁子さん

(沼津市婦人学級連絡協議会長・市民の会常任委員)

とにかく感激しました。駅前の広場、バスターミナル、駐車場、地下道の活用、身障者も使いやすいエスカレーター、歩道も広く、人工のせせらぎや緑地の配置などゆとりのある気がばりはやすらぎを与え、ゆつたりと買物できる雰囲気でした。立並ぶビル、街並もすっきりしていてうらやまばかり。説明される浜松市職員の方には自信と誇りがほとばしっています。しかし幾多の困難もあったことと思います。民話と行政の決断と実行力が民意の支えと相俟って結果したものでしょう。今後変貌するであろう沼津に夢をかけたのは私一人ではなかったと思います。

栗田武吉さん

(浮島地区連合自治会長・市民の会常任委員)

生気を失いかけていた沼津、何が原因だろうか。鉄道による南北分断も一因かもしれない。周辺に住む者として常に考えていることです。駅前に立ったとき、薄暗いかつての駅を知る者にとっては「やあこれだ、これだければ駄目だ。」広場の噴水の池を配した市民の憩いの場を見て「あつ」と引續いての驚きの言葉に先はなかつた。高架化により一変した浜松、街並みも道行く人にも活気がみなぎっているようだ。十数年の労苦はますますの発展を約束しよう。他市でできて沼津ができてくまない。官民一体となって後世への遺産づくりをせねばと心に決めたものです。

大嶽生江さん

(沼津市赤十字奉仕団委員長・市民の会常任委員)

浜松に活気を感じました。JR浜松駅の高架化と周辺の再開発、遠州鉄道の高架化(河川上を利用、沿線住民のプライバシーの保護策)事業は浜松を大きく変え、生命を与えたと思う。二十年余りの期間と莫大な投資額、多くのしかも難しい問題を乗り越えてのまちづくりの姿に接し、「沼津もやらねば」との感を強く抱いたものです。浜松市の行政の力や市民の支えに学ぶとともに、浜松に倍する努力がなければ沼津の事業は完成できないとも思われました。沼津の現状をみると南北の交通渋滞はひどいし、周辺の整備も全くとお粗末です。早く二十一世紀を展望したプランを立てていただき、全市一丸となつてその実現に向かつて出来るかぎりの努力をし、協力をして行かなければと思うばかりです。



▶浜松駅ビルと駅前広場

### 静岡県知事

### 等への陳情

第一回  
〇とき 六月十六日

〇参加 市民の会、沼津市、沼津市議会の代表

当日、市民の会等の代表は県庁を訪ね、斉藤県知事、白松県議会議長に陳情を行いました。陳情には、渡辺沼津市長、西山沼津市議会議長、原沼津市議会鉄道高架化促進対策特別委員長とその委員、大橋光雄市民の会副会長（沼津商工会議所副会頭）他役員の見勢三十余名が参加しました。



▲早期実現を要望(知事室)

「と積極的な発言をされました。さらに知事は「沼津は県東部の拠点、沼津が良くなることは東部地域全体がレベルアップする。」といった単に沼津駅周辺の整備にとどまらず、計画は沼津駅の役割を踏まえた広域性あるものとすべきだ。「財源のことはあまり心配せず、計画策定に力を入れ

致した活動は評価できるし、鉄道高架への熱意と意気込みは本物と思う。完遂まで一丸となって進めたい。」と語られました。参加者一同はこれまでの運動がやっと足が地についたと来たとの感を抱きながら帰路につきました。

第二回  
〇とき 十二月二十六日

〇参加 市民の会、市、市議会の代表

当日、市民の会等の代表は県庁を訪ね、斉藤県知事等に陳情を行いました。この日は高架化事業の早期実現と事務レベルでの指導、支援に対するお礼と年末の挨拶を兼ねた陳情でした。

### 地元懇談会の開催

〇とき 七月・十月

〇開催地 沿線連合自治会、単位自治会

地元懇談会が開催されたのは、東はJR東海、大岡団地付近から西は片浜地区に至る鉄道沿線の七連合自治会と二十八単位自治会地区で、公会堂、公民館に延べ七百五十余名の方々が参加されました。市、市民の会が懇談会を開催したのは、「沼津市の東部地区における中核機能が相対的に低下しており、再生(興)を図るには南北交通問題の解決や駅周辺地域の整備が重要で、そのためには鉄道を高架化することや鉄道跡地を活用した新たな拠点づくりが必要である。」ことを理解し、協力していただく素地づくりにあります。

各会場では高架化に関するスライド上映のあと活発な意見交換や質疑応答がなされました。懇談会では総論としては賛成の声が聴かれたが、プランを早く示してほしい、用地の買収や移転に関しどのような考え方を

▲熱心な話し合いの会場光景



### 広報啓蒙の活動

市民の会としての活動状況は随時新聞、テレビで報じられ、広報紙「かけはし」は年度末に発刊、全戸に配布、年間を通じ看板を掲げ、駅前

の電光ニュース(沼津タウンスポツトと提携)での放映は次のとおりです。「私たちの住む沼津市の活性化のために市民のみなさんの力で沼津駅の高架化を実現しましょう。」(駅の高架化を実現する市民の会)



# 駅の高架化と周辺の整備計画

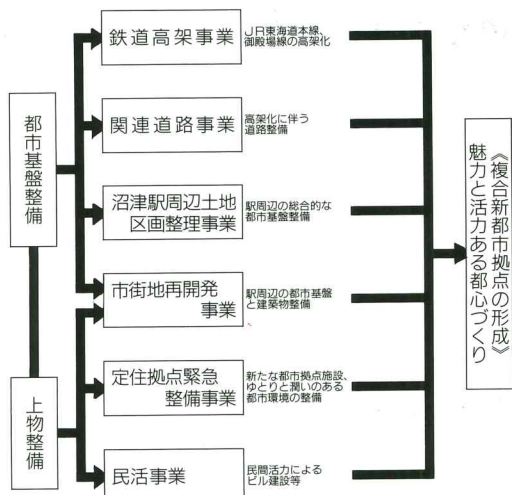
## 沼津市沼津駅周辺整備事務局

沼津駅周辺の鉄道高架化と周辺地域の整備は、沼津市民の長年の夢であり、二十一世紀に向けての沼津市発展の新たな活力を誘導する柱となる事業であります。この事業はかつて沼津市が経験したことのない大規模なものになると考えておりますが、大勢の市民の方々のご支援のもと一日も早い実現を目指し、全力を挙げて取り組んでいます。

### 沼津駅周辺総合整備事業と鉄道高架事業

鉄道単に高架化するだけでは、鉄道線路が地表から上に移動するに過ぎず、その事業効果としては踏切がなくなる等限られたものでしかありません。これでは沼津市が今抱えている課題「南北に分断されている市街地を一体化すること、また沼津市活性化のため駅周辺を新たな拠点地区として形成すること等」に込めていくことができません。鉄道高架化を契機として、沼津駅周辺や鉄道沿線の都市改造を行ない、静岡県東部地域の中核都市にふさわしい魅力ある都市づくりを進めていかなければなりません。このためには道路整備事業や土地区画整理事業などの基盤整備事業とともに、都市拠点形成のための施設建設などを総合的に実施していく必要があります。このような駅周辺の都市改造のための様々な事業を総称して「沼津駅周辺総合整備事業」と呼んでいます。もちろん沼津駅周辺総合整備事業の中核的

### 沼津駅周辺総合整備事業のしくみ



### 編集後記

このような大きな事業を進めていくには、市民の皆さんの理解と協力が必要です。また、沼津駅周辺総合整備事業の実施そのものは水面上にある。水面下の作業も極めて重要であるけれどすべてを披露できない難しさもある。双方相俟って事が運ぶことは納得できる十分見定めながら、またその指導や助言をうけつつ、市や市議会は行動している。市民の会は民意を結集し、市や市議会を支援、協力して行く役割をもつ。本会の活動内容を要約して、お伝えすることも会に課せられた役目であり、責務であると思う。

市では、この事業を強力に推進していくため、本年度行政組織を改正して、沼津駅周辺整備事務局を設けました。今のごときも皆様のご支援をお願いいたします。

一年の経過ははやい。日常の活動はさておき、本会活動の柱である事業の実施そのものは水面上にある。水面下の作業も極めて重要であるけれどすべてを披露できない難しさもある。双方相俟って事が運ぶことは納得できる十分見定めながら、またその指導や助言をうけつつ、市や市議会は行動している。市民の会は民意を結集し、市や市議会を支援、協力して行く役割をもつ。本会の活動内容を要約して、お伝えすることも会に課せられた役目であり、責務であると思う。

### 編集委員(順不同)

- 山室 公義
- 金井 隆直
- 秋山 精太郎
- 萩生 昌平
- 仁科 紀明
- 山川 勝